私の心の壁を越えて始まった平和統一の経験　　　　　沖縄　川満 妙子

私の家庭は、三人の子供がいます。今、韓国と日本の地で、家庭を持っております。孫も１３名授かり、誰からも羨む、幸せな家庭でした。

私の心の壁が出来たのは、二〇一四年主人が病気で倒れ、七年間の介護生活を一人で背負う事になりました。

子供達から経済の援助を頼り、追いつかない出費で子供達の家庭迄、経済的に追い詰められました。

介護で心身共に限界となり、地獄の様な苦しい環境になりました。

毎晩、ベランダから月を眺めながら、ご父母様に祈り泣いていました。

主人が聖和した後も、変わらず貧困の生活が続き、地位・名誉・財・主人と全てを失なった私は、いつしか悲しみと恨みの不平不満が膨らんできました。

友人、知人や親族を拒否して、心の壁を作り、孤独になっていました。

この様な心の壁を乗り越えたのは、韓国に行った時です。

長女は既に韓国に嫁いでいてます。娘に会いに行くと、義父母が私の事を心配して、食事に招待してくださいました。

私の心情は喜びよりも、体調を崩し、悲観的になって、惨めな姿を見せたくない、同情を受けたくないと拒否する思いが強くなっていました。

私のプライドが心の壁となり、断りました。それでも韓国の義父母は、私を迎えに来てくれました。

韓国の義母は、笑顔で声をかけて下さり、私の手をしっかり振って、私が転ばない様に、優しく手を添えて、一緒にゆっくり歩調を合わせて、案内して下さいました。

私は素直に受け入れず、恥しさと惨めな思いが何度も込み上げてきました。 韓国の義父母は、私の娘を嫁として愛して下さり、沖縄から来てくれた大切なお母さんを、沖縄から歓迎して差し上げたいと話されていました。 真の愛で尽して下さる韓国の義父母に、疑い警戒していたことを悔い改め、心から真のご父母様に赦しを迄う心情の祈りでした。 すると、韓国と日本の壁が崩れる様に、 南北の壁が崩れる様に、私の心の壁が崩れて越える事が出来ました。 韓国の娘の義父母の深い愛が伝わり、心が一つとなって、光が私の心に差し込んできました。

主人の闘病生活で夫婦の愛の絆が結ばれ、 親子、孫との愛の絆が深く結ばれ、三代圏の愛を実感しました。 すると、友人、知人が懐かしく、親族が慕わしく笑顔で接する事が出来る様になりました。

南北統一は、私から心の壁を越える事で、平和統一が成される事を悟りました。

三代圏の愛に囲まれ感謝をこめて、エツセイに応募しました。感謝致します。　　　　祈り